

建設物価 建設資材物価指数[®] 2023年11月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

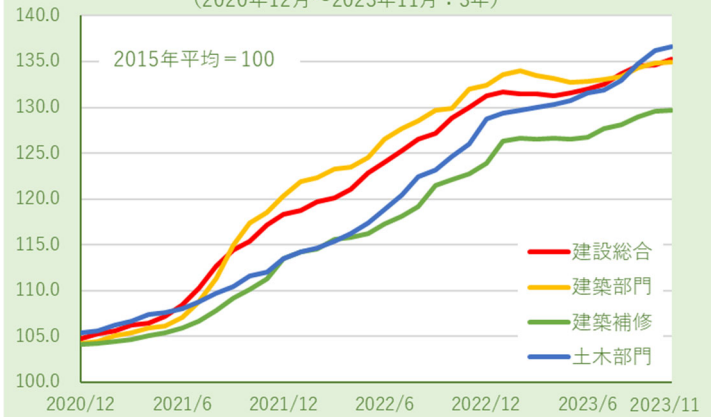
1. 指数の動向（全国平均）

建設総合(全国平均)で**135.2**と前月比+0.6ポイント(+0.5%)と、7カ月連続で最高値を更新した。前年同月比では+5.2ポイント(+4.0%)。部門別では、**建築部門**が**135.6**と前月比+0.7ポイント(+0.5%)、**建築補修**が**131.2**と前月比+1.4ポイント(+1.1%)、**土木部門**が**136.7**と前月比+0.1ポイント(+0.1%)となった。

紙・木製品、窯業・土石製品、金属製品、電気機械などの8分類がプラスに寄与した。紙・木製品は内外装・外構材、窯業・土石製品は建設用陶磁器・工業用陶磁器、金属製品は建築用金属製品やその他の金属製品などが主なプラス寄与品目であった。一方、マイナス寄与は、石油製品・舗装材料と鉄鋼の2分類であり、ガソリン・軽油、鋼板や鋼管などが主なマイナス寄与品目であった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2020年12月～2023年11月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【紙・木製品】内外装・外構材

原材料高による製造コストの増加を背景としたメーカーの値上げが浸透し、プラスに大幅に寄与

【窯業・土石製品】建設用陶磁器・工業用陶磁器

建設用陶磁器・工業用陶磁器が上伸し、一部の地域の生コンやコンクリート製品価格の上伸がプラスに寄与

マイナス寄与

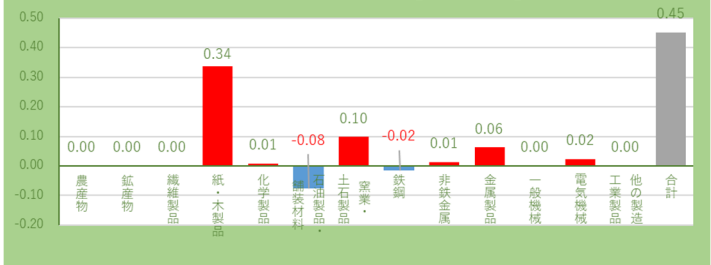
【石油製品・舗装材料】ガソリン、軽油

補助金による実質仕切価格の引き下げにより、販売価格が抑制されたことが、マイナスに寄与

【鉄 鋼】鋼管

前月に続き、需要低迷による販売競争から安値が散見され、鋼板、鋼管などの全国的な下落がマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



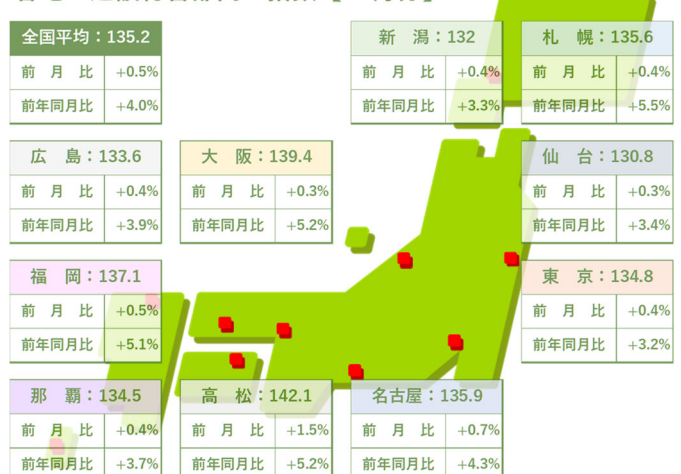
3. 都市別の動向（建設総合部門）

前月からの指数動向を都市別にみると、【高松】(前月比+1.5%)では、原材料価格の上昇による製造コストの増加を背景とした生コンクリートの値上げが市場に浸透したことが、大きくプラスに寄与した。

【名古屋】(同+0.7%)では、原材料高や輸送コストの増加を背景とした PHC パイルや RC ボックスカルバートなどのコンクリート製品の値上げが市場に浸透し、プラスに寄与した。

【福岡】(同+0.5%)でも、歩車道境界ブロックやU型側溝、組立マンホールといったコンクリート製品の製造・輸送コストの増加を背景とした値上げが浸透したことがプラスに寄与することとなった。

各地の建設総合部門の指数【11月分】



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp